

政策 02 豊かな心と知性を育むまちづくり

施策 02 確かな学力を育む教育の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
学習意欲をもって授業を受け、確かな学力が育成されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	指導要録の評定で全教科の評定が2以上である児童の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
	【学校教育課】	91.3	89.4	89.3	94	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が0.1ポイント低下した。 (原因) 苦手教科があるために全教科での評定は2以上にならないものの、その他の教科では学力が定着している児童も一定数いると分析する。					対前年度
						☔ (低下)
						目標達成度
						(---)

指標	指導要録の評定で全教科の評定が3以上である生徒の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
	【学校教育課】	46.6	42.2	44.0	65	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が1.8ポイント向上した。 (原因) 苦手教科を克服するとともに、得意教科を伸ばしている生徒が一定数いると分析する。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(---)

指標	学習意欲がある児童の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
	【学校教育課】	94.8	93.4	94.4	97	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が1.0ポイント向上した。 (原因) 教職員研修の実施により、多くの児童が活躍できる場を設定し、自ら学習したいと思わせる授業を展開していると分析する。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(---)

指標	学習意欲がある生徒の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
	【学校教育課】	85.3	88.9	92.4	90	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が3.5ポイント向上した。 (原因) 教職員研修の実施により、多くの生徒が活躍できる場を設定し、自ら学習したいと思わせる授業を展開していると分析する。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学力の定着

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	授業が分かると答える児童の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	93.4	92.6	94.7	96	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が2.1ポイント向上した。 (原因) 教職員研修の実施により、わかりやすい授業を展開し多くの児童の学力が向上していると分析する。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業01 学力の定着

指標	授業が分かると答える生徒の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	83.3	83.0	92.7	85	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が9.7ポイント向上した。 (原因) 教職員研修の実施により、わかりやすい授業を展開し多くの生徒の学力が向上していると分析する。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実

指標	少人数指導授業を受けている児童の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	94.8	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況) 目標を達成している。 (原因) 小学校1、2、3年生は少人数学級であるため全員が全教科を少人数授業を受けており、4年生は外国語活動、5、6年は外国語（英語）において全員が少人数指導を受けていることによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実

指標	少人数指導授業を受けている生徒の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況) 目標を達成している。 (原因) ALTを配置した中学校全学年の英語及び2年生の数学の授業で、少人数指導を受けていることによる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	特別な支援を必要とする児童生徒に対する補助員等の対応率(%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況) 目標を達成している。 (原因) 特別な支援を必要とする児童生徒に対し、学校運営支援員、学校運営補助員の配置及び看護師を派遣したことによるものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 特色ある学校づくりの推進

指標	地域の特性を活かした特色ある学校づくりが実施されている割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況) 目標を達成している。 (原因) 各学校で創意工夫を生かした活動が行われており、特色ある学校づくりが進んでいることによるものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業04 教職員の資質向上

指標	教職員の研修受講割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況) 目標を達成している。 (原因) 研修対象教職員全員が研修を受講したことによるものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業04 教職員の資質向上

指標	校内現職研修実施回数(回)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	14.9	14.8	12.9	20	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が1.9ポイント低下した。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画した研修ができなかったことによるものである。なお、研修にあたっては、研修に参加する教職員の負担等を考慮しながら、各校において効果的な研修を実施している。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業04 教職員の資質向上

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	研修効果があったと感じる教職員の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	93.2	94.3	94.3	95	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値は横ばいだった。 (原因) 前年度と比較し、内容に具体性をもたせたり、教職員の興味・関心がある研修を企画したことによるものである。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業05 教育環境の整備

指標	大規模改修工事を完了した学校数の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育政策課】	33	42	42	50	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値と同数値である。 (原因) 感染症対策及び熱中症対策としてニーズの高まる空調設備改修及びトイレ改修工事を優先したことにより、大規模改修工事を延期したことによるものである。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業05 教育環境の整備

指標	施設維持管理上の不具合による教育支障件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育政策課】	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度同様に実績値（R3）は目標を達成している。 (原因) 施設修繕及び保守を実施することで、適切な施設維持管理に努め、教育支障件数が無かったことが要因である。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業05 教育環境の整備

指標	通学路上の危険箇所に対する要望への対応率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	79.5	67.4	63.0	86	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が4.4ポイント低下した。 (原因) 通学路上の危険箇所に対する要望の中には、道路状況等の要因により対応が難しい箇所があったことによるものである。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)